



チュートリアル課題 太ったのかしら

著者名	東京女子医科大学
雑誌名	チュートリアル課題
巻	2007
号	B2
発行年	2007-09-28
URL	http://hdl.handle.net/10470/28999

2007年度

Block 2 テュートリアル課題

課題番号 1

太ったのかしら



断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

TWMU Block 2 第四内科学 芳田 工

シート 1

カルチャーセンターで、主婦仲間の田中さん（35歳）と久しぶりにお話しました。

私 「最近、太ったんじゃない？」

田中「そうかしら？ そういえばときどき靴がきつく感じるの。」

私 「足が太くなったようね。」

田中「やっぱり、太ったのかしら？ 人のからだって水でできているっていうじゃない。 私の場合、水を飲んでも太る気がするの。」

私 「私は、水を飲むとしょっぱいものが食べたくなるわね。」

田中「飲んだ水とか塩はどこに行くのかしら」

抽出を期待する事項

1) 「靴がきつくなる」という現象の意味は？

→本当に太ったのか？ 浮腫とは何かについて理解させる。

→毛細血管の血行力学の変化に着目する。

2) 「人のからだって水でできている」

→体液分布について理解する。

3) 「水を飲むとしょっぱいものが食べたくなる」

→水・Na バランスおよび関与するホルモンについて理解する。

4) 「飲んだ水とか塩はどこに行くのかしら」

→尿の産生機序について

シート 2

田中「指で脛（すね）を押すとね、くっきりと指のあとが残るの。」

私 「足だけなの？」

田中「指輪もきつくなかったみたいなの。」

私 「私の母は乳がんの手術をしたあとから、左腕だけむくむようになったわね。」

資料提示 資料 1：下肢の写真

抽出を期待する事項

- 1) 「脛（すね）」を押すと、くっきりと指のあとが残る」の意味は？
→ 圧痕の特徴と浮腫の関連性を指摘できる
- 2) 「指輪もきつくなかったみたいなの。」 「左腕だけむくむ」
→ 全身性浮腫と局所性浮腫の鑑別について調べる。
- 3) 浮腫の病態生理について理解する。

シート 3

私 「体重は増えたの？」

田中 「朝の体重はあまり変わらないのだけれど、夕方になると体重が 2kg ぐら
い増えるのよ。」

私 「一度病院で診てもらったら？」

田中 「そうね、でもどんな検査するのかしら。」

私 「腎臓病でむくむっていうじゃない。」

田中 「腎臓ってどこにあるの？」

抽出を期待する事項

1) 「体重が増えること」の意味は？

→体液過剰に傾いている

2) 夕方になると体重が増加する

→体重の日内変動は特発性浮腫の特徴

3) どういった検査が必要か議論する

4) 腎臓はどこか？

→腎・尿路の構造について

シート 4

原因を調べるため、田中さんは病院を受診したようです。1 週間後の夜に電話をくれました。

私 「どうだったの？」

田中「第一日目は、尿、血液、胸部 X 線、心電図の検査をしたの。」

私 「それで、どうだった？」

田中「今のところ軽度の肥満以外には異常がないって。血圧も正常だったわ」

私 「薬はもらったの？」

田中「もらわなかったの。薬は飲んだ事がないから不安だわ。次の受診のときに、一日尿をためてその一部を持ってくるようにいわれているの。」

私 「何だか、大変そうねー」

資料提示 資料 2 (検査結果 1、血液生化学と蓄尿の結果)

資料 3 (胸部レントゲン写真)

資料 4 (検査結果 2、血漿レニン活性、アルドステロン値)

抽出を期待する事項

1) 尿検査では何を調べたの？

→尿比重、蛋白尿や血尿の有無

2) 採血ではどんな種類の検査が一般的か？

→血算、肝機能、腎機能、血糖をふくむ一般的な検査

3) 血圧が正常だった理由は？

→細胞外液量は増えているが、血管内容量が増加していない可能性

4) 「薬は飲んだ事がない」の意味は？

5) 「不安」の意味は？

6) 蓄尿を行う方法とその意味は？

→尿量、蛋白尿や電解質の定量

→立位負荷による尿量減少の確認。

シート 5

さらに、外来でホルモン採血が施行されました。

私 「検査の結果はどうだったの？」

田中 「うん、異常があるそうよ。」

私 「ホルモン異常でむくむことがあるんだ。更年期かしら？」

田中 「生理の周期とは無関係なんだけどね。とっても不安で、落ち込んでる。」

抽出を期待する事項

1) どんな種類のホルモン検査があるの？

→甲状腺ホルモン、血漿レニン活性、血漿アルドステロン濃度、抗利尿ホルモン
濃度の測定

2) 予想されるホルモン異常とは？

→血漿レニン活性は正常で血漿アルドステロン濃度の上昇

3) まとめると？

→体重の日内変動があり、血圧は正常で、レニン・アルドステロン系が立位負荷による亢進をきたしている浮腫